

文化講演会のお知らせ（無料）

この度杉並区医師会では、下記の通り学術広報部主催の文化講演会を開催致します。

杉並区医師会会員は勿論のこと、家族、職員、一般の方、患者様方も歓迎致します。多数ご来場くださいますようお願い申し上げます。

記

日時 平成26年11月26日（水）

午後8時00分より9時30分（開場午後7時30分）

場所 杉並区医師会館

杉並区阿佐谷南3-48-8 電話3392-4114

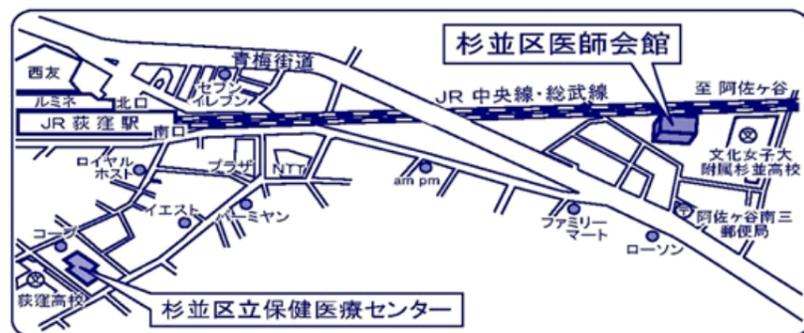
講師 脚本家・中園ミホ氏

演題 「脚本家の視点から

～医療ドラマの取材を通して思うこと～



東京生まれ。日本大学芸術学部卒業後、広告代理店勤務、コピーライター、占い師の職業を経て、88年にテレビドラマ『ニュータウン仮分署』で脚本家としてデビュー。その後も『Age, 35 恋しくて』『不機嫌な果実』『やまとなでしこ』『anego』『ナサケの女～国税局査察官～』『下流の宴』など、テレビドラマを中心に数多くの作品を執筆する。07年に『ハケンの品格』が放送文化基金賞と橋田賞を、13年には『はつ恋』『Doctor-X 外科医・大門未知子』で向田邦子賞と橋田賞を受賞。14年はNHK連続テレビ小説『花子とアン』を執筆、朝ドラ過去10年間で最高視聴率を記録するなど話題となる。徹底した取材を通じてのリアルな人物描写には定評があり、特に女性の本音に迫るセリフは多くの視聴者から共感を得ている。また、『東京タワー』『ゴースト ～もう一度抱きしめたい～』等の映画脚本も担当。日本大学芸術学部客員教授。



主催 杉並区医師会学術広報部